

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日  
北陸信越運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果		
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
諏訪市地域公共交通協議会	<p>■事業者名 ・アルピコ交通株式会社</p> <p>■運行系統名 ・すわライナー右回り線 ・西山線</p>	<p>・すわライナー右回り線 (※原則毎日運行) 日赤病院⇒上諏訪駅(霧ヶ峰口)・上社⇒上諏訪駅(諏訪湖口)</p> <p>・西山線(火・金運行) みどり区⇒大熊⇒みどり区</p> <p>(※)運休日 ・諏訪湖マラソン大会当日</p>	<p>■平成29年10月ダイヤ路線改正により利用者より寄せられた意見等を反映して、令和元年11月に軽微な経路変更を行い運行した。</p> <p>■市内を運行する公共交通全体の利用促進を図るため、市民に対しての周知活動やイベント等でのモビリティマネジメントを行った。</p> <p>・「広報すわ」を活用した利用案内</p> <p>・諏訪市社会福祉協議会と連携し、高齢者を対象とした無料体験乗車企画</p>	B	<p>■新型コロナウイルス感染症防止対策により、一部の利用促進事業が中止となった。</p> <p>・エコフェスタの中止によりバス展示見送り</p> <p>・小中学生を対象とした夏休み無料体験乗車企画の中止</p>	B	<p>■平成29年2月に当市で策定した「第五次諏訪市総合計画後期基本計画」に記載されている、対象路線を含むかりんちゃんバス全体の目標値である362日運行は達成することが出来たが、年間利用者数84,165人及び、1便当たりの利用者目標数値(7.5人/便)は達成することが出来なかった。</p> <p>かりんちゃんバス7系統利用者実績(補助対象期間中) 365日運行、13,397便、利用者数78,159人、5.8人/便</p> <p>■新型コロナウイルス感染症に伴う移動自粛によるもの考える。</p>	<p>■利用者の利便性向上を目的とした路線の見直しを図る。</p> <p>■目標値の維持及び向上に向け、市内で運行する公共交通全体の利用促進を図るため、コロナ対策をしたうえで、引き続き市民に対しての周知活動やイベント等でのモビリティマネジメント事業を継続的に実施する。</p> <p>・小中学生を対象にした体験乗車企画</p> <p>・市高齢者福祉課や諏訪市社会福祉協議会と連携した、高齢者を対象にした体験乗車企画</p> <p>・安全安心してバスを利用できるよう、換気装置等を整備し「新しい生活様式」に対応した車両を配備</p> <p>・企業や店舗と連携し、バスに乗車するとお得になる「バス友」を企画</p>	<p>協議会における事業評価結果の③及び④については自己評価のとおりである。</p> <p>なお、⑤の目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、⑥の事業の今後の改善点については、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。</p>

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
諏訪市地域公共交通協議会	<p>■事業者名 ・諏訪交通株式会社</p> <p>■運行系統名 ・東山線反時計回り ・東山線時計回り</p>	<p>・東山線反時計回り (※原則毎日運行) 上諏訪駅(諏訪湖口) ⇒日赤病院⇒上諏訪駅(諏訪湖口)</p> <p>・東山線時計回り (※原則毎日運行) 上諏訪駅(諏訪湖口) ⇒茶臼山⇒上諏訪駅(諏訪湖口)</p> <p>(※)運休日 ・諏訪湖マラソン大会当日</p>	<p>■平成29年10月ダイヤ路線改正により利用者より寄せられた意見等を反映して、令和元年11月に軽微な経路変更を行い運行した。</p> <p>■市内を運行する公共交通全体の利用促進を図るため、市民に対しての周知活動やイベント等でのモビリティマネジメントを行った。 ・「広報すわ」を活用した利用案内 ・諏訪市社会福祉協議会と連携し、高齢者を対象とした無料体験乗車企画</p>	<p>B</p> <p>■新型コロナウイルス感染防止対策により、一部の利用促進事業が中止となった。 ・エコフェスタの中止によりバス展示見送り ・小中学生を対象とした夏休み無料体験乗車企画の中止。</p>	<p>B</p> <p>■平成29年2月に当市で策定した「第五次諏訪市総合計画後期基本計画」に記載されている、対象路線を含むかりんちゃんバス全体の目標値である362日運行は達成することが出来たが、年間利用者数84,165人及び、1便当たりの利用者目標数値(7.5人/便)は達成することが出来なかった。</p> <p>かりんちゃんバス7系統利用者実績(補助対象期間中) 365日運行、13,397便、利用者数78,159人、5.8人/便</p> <p>■新型コロナウイルス感染症に伴う移動自粛によるものと考え。</p>	<p>■利用者の利便性向上を目的とした路線の見直しを図る。</p> <p>■目標値の維持及び向上に向け、市内で運行する公共交通全体の利用促進を図るため、コロナ対策をしたうえで、引き続き市民に対しての周知活動やイベント等でのモビリティマネジメント事業を継続的に実施する。 ・小中学生を対象にした体験乗車企画 ・市高齢者福祉課や諏訪市社会福祉協議会と連携した、高齢者を対象にした体験乗車企画 ・安全安心してバスを利用できるよう、換気装置等を整備し「新しい生活様式」に対応した車両を配備 ・企業や店舗と連携し、バスに乗車するとお得になる「バス友」を企画</p>	<p>協議会における事業評価結果の③及び④については自己評価のとおりである。 なお、⑤の目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、⑥の事業の今後の改善点については、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。</p>

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果		
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
諏訪市地域公共交通協議会	<p>■事業者名 ・諏訪交通株式会社 ・アルビコタクシー株式会社 ・第一交通株式会社</p> <p>■運行系統名 ・かりんちゃんバス大和四賀線</p>	<p>・かりんちゃんバス大和四賀線 (※原則毎日運行) 聖母寮前⇒上諏訪駅(霧ヶ峰口)⇒神戸公民館前  (※)運休日 ・諏訪湖マラソン大会当日</p>	<p>■平成29年10月ダイヤ路線改正により利用者より寄せられた意見等を反映して、令和元年11月に軽微な経路変更を行い運行した。</p> <p>■市内を運行する公共交通全体の利用促進を図るため、市民に対しての周知活動やイベント等でのモビリティマネジメントを行った。</p> <p>・「広報すわ」を活用した利用案内</p> <p>・諏訪市社会福祉協議会と連携し、高齢者を対象とした無料体験乗車企画</p>	B	<p>■新型コロナウイルス感染防止対策により、一部の利用促進事業が中止となった。</p> <p>・エコフェスタの中止によりバス展示見送り</p> <p>・小中学生を対象とした夏休み無料体験乗車企画の中止</p>	B	<p>■平成29年2月に当市で策定した「第五次諏訪市総合計画後期基本計画」に記載されている、対象路線を含むかりんちゃんバス全体の目標値である362日運行は達成することが出来たが、年間利用者数84,165人及び、1便当たりの利用者目標数値(7.5人/便)は達成することが出来なかった。</p> <p>かりんちゃんバス7系統利用者実績(補助対象期間中) 365日運行、13,397便、利用者数78,159人、5.8人/便</p> <p>■新型コロナウイルス感染症に伴う移動自粛によるものと考える。</p>	<p>■利用者の利便性向上を目的とした路線の見直しを図る。</p> <p>■目標値の維持及び向上に向け、市内で運行する公共交通全体の利用促進を図るため、コロナ対策をしたうえで、引き続き市民に対しての周知活動やイベント等でのモビリティマネジメント事業を継続的に実施する。</p> <p>・小中学生を対象にした体験乗車企画 ・市高齢者福祉課や諏訪市社会福祉協議会と連携した、高齢者を対象にした体験乗車企画 ・安全安心してバスを利用できるよう、換気装置等を整備し「新しい生活様式」に対応した車両を配備 ・企業や店舗と連携し、バスに乗車するとお得になる「バス友」を企画</p>	<p>協議会における事業評価結果の③及び④については自己評価のとおりである。</p> <p>なお、⑤の目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、⑥の事業の今後の改善点については、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。</p>